

# 鋼製束 フラットタイプ

KMR-1826T / KMR-2536T  
KMR-2846T / KMR-3553T

## 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要などきにお読みください。

### 安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

**▲ 警告** …人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

**▲ 注意** …人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容



**警告**

- 対応寸法の範囲以上の高さでは、絶対に使用しないでください。
- 最下階の床組以外に使用しないでください。主要構造部扱いとなる床組での使用はできません。
- 高さ(レベル)調整の際は、片方の支柱ボルトだけを回さず、ターンバックルを回転させて行ってください。破損や強度低下の原因となります。
- 本品に対して不必要な打撃や分解、改造は行わないでください。破損や強度低下の原因となります。
- 本品取付位置(土間コンクリート床または束石)の表面が水平で、溜水・異物のないことを確認してください。
- 束石の場合は、束石がしっかり据え付けられていることが必要です。
- 防湿モルタル(60mm以下)の場合には、必ず束石をセットした状態で使用してください。
- 本品は必ず垂直に取り付けてください。建物完成後は最終調整を行ってください。
- 本品の取付間隔は、1000mmピッチ以内としてください。

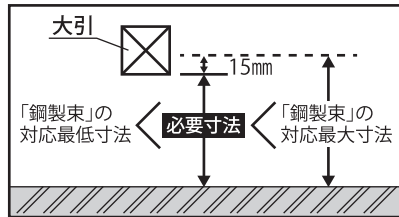


**注意**

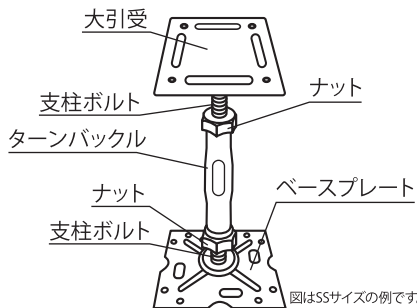
- 施工手順に従い、すべてのナット、ビスを確実に締めてください。
- 包装資材は、お住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

### 施工の前に

1. 使用する鋼製束が必要寸法プラス15mm程度が対応寸法の最大寸法に納まっているかを確認してください。
2. 取り付け施工をスムーズに行うために、操作方法の確認を行ってください。
3. 鋼製束のベースプレートを固定する市販の床施工用接着剤を準備してください。



### 各部名称



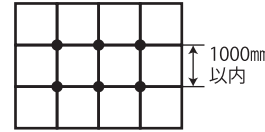
| 鋼製束 SS |               | 型番   | KMR-1826T |
|--------|---------------|------|-----------|
| JAN    | 4920501421271 | 対応寸法 | 180~260mm |
| 鋼製束 S  |               | 型番   | KMR-2536T |
| JAN    | 4920501421288 | 対応寸法 | 250~360mm |
| 鋼製束 M  |               | 型番   | KMR-2846T |
| JAN    | 4920501421295 | 対応寸法 | 280~460mm |
| 鋼製束 L  |               | 型番   | KMR-3553T |
| JAN    | 4920501421301 | 対応寸法 | 350~530mm |

※製品の仕様および外観は、改良などの理由で予告なく変更することがあります。 株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 Tel.025-371-4805 Made in China

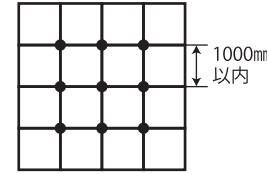
### 施工手順

※鋼製束の取り付け間隔は、前後左右、1000mmピッチ以内となるように取り付けます。

● 6帖間(6か所)

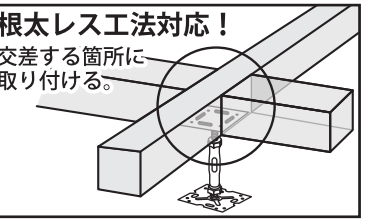


● 8帖間(9か所)

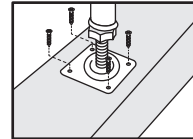


#### 根太レス工法対応!

交差する箇所に  
取り付ける。



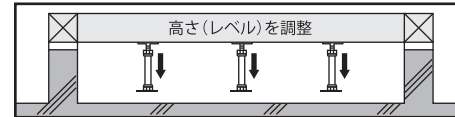
- 1 施工図をもとに鋼製束の高さをあらかじめ束高さ以下に調整してください。大引を反転させ、釘(L=65mm程度)または、ビス(φ4×L=40mm程度)4本で大引受に取り付けてください。



※鋼製束取り付け後、ベースプレートの裏面に床施工用接着剤を塗布します。(事前に接着面の汚れを落としてください。接着剤は1本あたり約35~40gが目安です。)

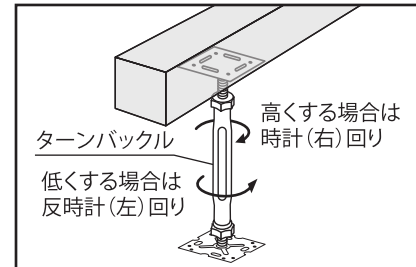
- 2 大引材をもととして鋼製束の高さを調整し、土間コンクリートと接着します。

● 大引を所定の位置にセットした状態

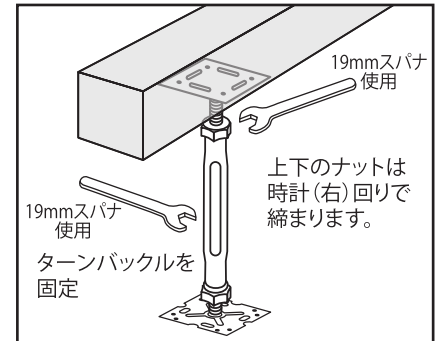


※接着剤が硬化するまで浮き上がり防止のため、仮止めとして対角(2カ所)に釘止めすることをおすすめします。

- 3 ターンバックルを回し、大引の高さ(レベル)を調整します。



- 4 上下のナットを締め付けて高さを固定します。



#### ▲ 注意

必ずナットを締めて、ターンバックルを固定してください。ナットの締め付けが不完全だとターンバックルの固定が不十分になり、床レベルの低下や床鳴りの原因となる場合があります。